

 民主党 **東京都議会議員**

(足立区選出)

大西 さとる

2015. 10. 13発行

Vol.102

都議会レポート

発行 都議会民主政策調査会

所在地 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 03-5320-7230 FAX 03-5388-1784

平成27年第3回定例議会報告

【東京五輪の透明性確保と情報公開を】

平成27年第3回都議会定例会が、10月8日に閉会しました。今定例会では、新国立競技場の整備計画や大会エンブレムが白紙撤回されたことなど2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する課題が大きなテーマとなりました。

都議会民主党は、貧困の連鎖解消、高齢化社会対策、防災やテロ対策などの課題について、積極的に質疑・提案を行いました。皆様には本リポートへのご意見を賜りたく、お願い申し上げます。

◆◆2020年東京オリンピック・パラリンピック◆◆

新国立競技場の整備計画が白紙となり、大会エンブレムも、撤回に追い込まれました。都議会民主党は、これらの問題で2020年大会の機運醸成に水を差されたことは残念であり、同じ過ちを決して繰り返してはならないと考えています。

そこで、2020年大会の成功に向け、新国立競技場をはじめとした開催計画の実施に当たって、都は意思形成過程の透明性を確保し、情報を広く公開するとともに、国や組織委員会に対しても、これら対応を促すべきと主張しました。

舛添知事は、2020年大会を成功に導くために、情報公開を行い、広く情報を共有することが肝要であり、新国立競技場問題の反省を踏まえ、都立施設の整備の進捗状況を公表していく、開催都市として国や組織委員会に対し、事業の透明性を高めるための働きかけを行う、と答弁しました。

《都民、国民に愛されるオリンピック・パラリンピックを》

また、都議会民主党は、2020年大会エンブレムの選定について、様々なデザインが幅広く応募されることが望ましいと考えています。そこで、エンブレム撤回の教訓から、幅広い公募と選考過程の透明化、最終選考案の公開などを組織委員会に対して求めるべきと訴えました。

知事は、使用中止に至ったのは残念だが、幅広い応募や多様な分野の人選による審査、情報公開の徹底を実施し、国民に広く愛されるエンブレムの早期の選定を期待する、と答えました。

子どもが大好き!!

◆◆お子さまに◆◆

《子どもの貧困連鎖解消へ

実態調査と対策強化を》

子どもの貧困が社会問題化するなか、都内自治体でも担当部署の設置や実態調査など、対策が始まっています。

都議会民主党は、都においても、子どもの貧困調査を実施し、各自治体とともに、貧困対策を強化することを求めました。

知事は、都が養育世帯の生活実態や子育て状況などを明らかにするため、5年ごとの実態調査を行っている。今後とも、区市町村と連携しながら、子供と家庭の生活実態を把握し、更なる施策の充実に努める、と答弁しました。



次の世代のために

《ホットラインの構築など食物アレルギー対策の充実を》

平成24年の学校給食での死亡事故を受け、自治体は食物アレルギー対策に取り組んでいますが、学校での対策には限界があります。都議会民主党は、学校と病院を結ぶホットラインを設置するなど学校が医療機関との連携を含め、アレルギー疾患対策を更に強化していくべきと主張しました。

都教育委員会は、校内体制の整備を働き掛けてきた。学校ではホットラインの設置や研修会開催などの医療連携を進めている。これらの状況を踏まえて、区市町村教育委員会を支援する、と答弁しました。

◆◆ご高齢の方に◆◆

《安心の高齢化社会実現へ知事の取り組みを求める！》

低年金、生活困窮状態、疾病や要介護等の事情による老後破産、下流老人が問題となっています。高齢者は、自らサービスへのアクセスを図ることが困難であり、社会的孤立状態に陥りやすいことから、都議会民主党は知事に対し、社会的に孤立せず、安心して老後の生活を送れる東京の実現を求めました。

知事は、要介護高齢者などが増える将来を見据え、人々が支え合う地域の力、サービスを提供する民間の力、基盤整備を担う行政の力を組み合わせながら、様々な施策を展開する、と答弁しました。



◆◆地域の皆様に◆◆

《水害は他人事ではない！危機意識向上に全力を！》

台風18号による大雨で、都内でも避難勧告が出されました。しかし、避難所に都民の姿はほとんどなく、日頃の危機意識向上に改めて課題を示しました。そこで都議会民主党は、「東京防災」の各地域での活用や都の総合防災訓練での都民の防災意識を高める取り組みを求めました。知事は、度重なる自然災害の発生で、災害への備えの重要性を改めて痛感。イベントの機会を捉えた活用、防災教育の充実や消防署等でのセミナーなど、都を挙げて取り組み、幅広い世代への防災意識を喚起する、と答弁しました。



《ロンドン市との友好都市 都民に還元する取組求める》

今定例会では、東京都とロンドン市との友好都市関係結成についての事件案が、承認されました。都市外交では、相互理解はもちろん、投資や訪日客の増加、MICE誘致など、都政に還元される成果をあげることも必要です。

都議会民主党は、友好都市関係結成にあたって、儀礼的なものにとどまらず、都政に有意義な活動を行うよう求めました。知事は、オリンピック・パラリンピックを成功させ、世界のトップになったロンドンとの提携で、都市づくり、環境対策など、交流、協力を推進し、実りあるものとする、と答弁しました。

《老朽マンション対策を急げ 一層のインセンティブ等計画を》

都内総世帯の約4分の1が分譲マンションに居住しており、今後急速に増える老朽マンション対策は喫緊の課題です。都議会民主党は、条例制定も含め、年次ごとの目標や一層のインセンティブ、規制緩和、不良ストック化の防止などを盛り込んだ総合的な計画策定を求めました。

都は、実態把握や管理不全の予防・改善の具体的方策などの検討を開始。まちづくりと連携してマンション再生を促す制度構築などを盛り込んだ新たな計画を策定し、安全で良質なマンションストック形成に取り組む、と答弁しました。

【大西さとのプロフィール】

昭和36年生まれ。立命館大学経済学部卒、早稲田大学大学院修士課程修了。11年間のサラリーマン生活ののち、細川律夫衆議院議員第一秘書を経て、平成13年都議選に挑戦するも惜敗、平成17年に都議選に初当選。文教委員会委員長、オリンピック招致委員会理事、都議会民主党幹事長代行などを歴任。現在3期目、環境・建設委員会所属。

東京都議会議員 大西さとの事務所

〒121-0816 足立区梅島1-12-6 高橋ビ2F
Tel 03-3849-7847 Fax 03-3849-7846
E-mail satoru@onishi-satoru.jp
HP <http://onishi-satoru.jp>

大西さとの 検索